



LONGIN

We create in Tokyo Japan since 2011

WEB MAGAZINE Vol.

19

LONGIN

in Tokyo Japan since 2011



フリーペーパー
ロンジンマガジンVol.5も
釣具店にて絶賛配布中!



レビンライト特集記事はケー
パスのりに役立つ情報記事
満載! 弊社製品取扱店にて無
料配布しておりますので、足
跡お持ち帰り下さい(配布終
了の際はご容赦下さい)。

絶対エース!
シャロー攻略の



NEW

LEVINLIGHT
レビンライト
95mm 12g 1,600円+税

sinking type pencil bait for salt water

全13色 ※在庫アウトレット
期間限定生産

カッ飛び表層対応のライトモデル!! シャローに特化したレビンが登場!

レビン(ライト)は重量が軽くなったことでフィンキールの水堀み力がさらに強く影響、水を受けて曲れた唇のスタイト幅がよりワイドになることで、レビン(ライト)の中でもいちばん大暴る手を掴みながら劇的にアールを減らすのが特徴。幅広いリトリブススピード & 流速の変化に対応し、強い流れの中や早急な水堀直下へ約40cmのファーストフールは、12gの自重とは思えないほど一切のブレ無く急な水堀にかつ飛びます。浅層が得意なキーストレス期間の、ランチを引く際にもファーストフールは、12gの自重とは思えないほど一切のブレ無く急な水堀にかつ飛びます。浅層が得意な水堀直下をキーストレスに導いてくれるシャローに特化したモデルなので、河口、干潟、河川、汽水域などのシャロー帯での効果は絶大です!

フランクキーに新色登場!



数量限定の落ちアユを含む6色が新登場!

FRANKY

120mm 20g Floating 1,900円+税





流れと地形を把握すれば、 河川のシーバスは もつと釣れるようつになる！

シーバスフィッシングにおいて外せないポイントが河川。河川の特徴に合わせたカラーローテーションやアプローチの基本を理解して、釣果を伸ばす方法とは？



Text by 山内勝己

まずは河川の特徴を知ろう

まず、本題に入る前に河川とはどのようなフィールドなのか？ また攻略するためにはどのようなことを意識すればいいのか？ なぜバイブレーションであるキックビートが有効なのか？ 先にこれらについて簡単に説明しましょう。

河川攻略で重要な要素は二つあります。

①「流れ」

河川は河川自体の流れや潮の干満差による流れ、雨など自然的な要素が加わった流れといったように様々な流れがあります。強い流れも有れば弱い流れもあるので、流れの強弱に対してのルアーの『適応力』が重要になってきます。

弱い流れの中でもしっかりと泳ぎ、逆に速い流れの中では泳ぎが破城せずしっかりと泳ぎ切る。キックビートはバイブレーションなのですが、イメージとしてはミノーのようにボディが流れを受けて受け流す、流れへの対応力が高くバランスの良いバイブレーションです。リトリーブスピードも幅広く、速巻きは当然ですが、スローでもハイピッチにしっかりとアクションし泳いでくれます。

②「地形の変化」

河川を攻略するうえでは、流れを考えると同時に地形の変化をしっ

かりと把握して攻める、というのも重要な要素になります。

シーバスはブレイクなどの深場、またはカケアガリといった地形の変化に居着くことが多く、またそういった変化沿いを回遊してきます。



陸上からは一見ポイントが無いように見える河川だが、水中の地形を知っているかないかで釣果の差は歴然だ。



活性が高かったり、表層付近のベイトを意識しているときは、上のレンジでミノーやシンペンでも反応を得られるのですが、一年を通すとそういった好条件ばかりで釣りができるわけではありません。

活性が低いときや、ハゼやカニなどのボトム付近のベイトを意識しているときは、ボトムを意識して地形の変化をダイレクトに攻められるルアー、バイブレーションがなんといってもいちばんです。

また、河川は水深が数mある場所から数十cmのところもあるため、幅広い層を探れるレンジの融通性のあるバイブレーションが使いやすいのです。キックビートは70mm 20g、70mm 15g、55mm 12gと3サイズあるので、その時々状況によって使い分けると、さらに攻めの幅を広げることができます。

カラーローテーションを考える

攻略に欠かせないカラーローテーションですが、私が天候や水質(濁りなど)、デイゲーム・ナイトゲーム、またその日の状況に応じて先

ず考えるローテーションは次のようになります。

①デイゲーム・水質が比較的クリアな場面

ナチュラルなアピールとなるシルバー系（ホロ・メッキ）をメインに組み立て、ゴールド系・ブラックをフォローにローテーションします。

デイゲーム（クリア）



035: ギョコ（メッキ）



024: ボラ（レンズホロ）



025: レンズキャンディー（銀粉ラメ）



030: 銀粉イワシ（銀粉）

②デイゲーム・濁りのある場面

アピール度の高いゴールド系をメインに、シルバー系・ブラックをフォローに入れていきます。デイゲームの場合はカラーによるアピール度も大切なのですが、私はそれだけではなく、ホログラムによるカラーやフラッシングによるアピール度を重視して組み立てています。

ブラックはシルエットをはっきりさせ、ホログラムのように膨張してアピールするのと正反対のアピールとなるのでフォローとして必ず加えます。

デイゲーム（濁り）



034: グリーンゴールドイワシ（スマッシュ）



036: ピンクチャートベリー（スマッシュ）



047: 金赤オレンジベリー（縦ホロ）



032: ブラックキャンディー（マグマ）

③ナイトゲームでのローテーション

ナイトゲームの場合、基本的にはアピール度の高いカラーからメインにローテーションします。

チャート・パール系→ゴールド系→シルバー系→ブラックという順番です。

キックビートのカラーラインナップの中でナイトゲームで多用するカラーは、チャートパールオレンジ・レッドヘッド・ピンクチャート

ベリー・ブラックキャンディーの4色がメインとなります。

ナイトゲーム



035: ギーゴ (メッキ)



029: チャートパールオレンジ (パール)



036: ピンクチャートベリー (スマッシュ)



025: レンズキャンディー (銀粉ラメ)

④ クロダイゲーム

ここまではシーバスをメインに書きましたが、昨今は関東でも河川
のクロダイゲームが注目されており、中でもバイブレーションはとて
も有効なルアーとして使われています。ハイアピールなキックビート
もクロダイに実績の高いルアーです。

フィールドにもよりますが、関東東京湾のクロダイの傾向として、
アピール度の高い物に好反応をしめしてくれることが多くあります。

ローテーションとしては、ゴールド系 (グリ金・赤金) をメインに
メッキ系 (ギーゴ)、チャートホロ (ピンクチャートベリー)、ブラッ
ク (ブラックキャンディー)。これらをその日の反応によって使い分
けますが、ナイトゲームでは、これにチャート・パール系を加えると
よいでしょう。

クロダイゲーム



034: グリーンゴールドイワシ (スマッシュ)



036: ピンクチャートベリー (スマッシュ)



032: ブラックキャンディー (マグマ)



035: ギーゴ (メッキ)

3サイズのローテーション

キックビートにはもうひとつのローテーションがあります。それは
70mm 15g、70mm 20g、55mm 12g の3サイズを使ったローテーシ
ョンです。

① レンジによる使い分け

これは基本的な使い分けになるのですが、ウェイトによるレンジ

攻略という点では、上のレンジから順に 55、15g、そして 20g となります。バイブレーションはボトムを意識して地形の変化をダイレクトに攻めるときに多用するので、狙いたいエリアの水深によっても使い分けます。例えばシャローエリアなど水深が浅ければ 55、深い場所やブレイクでは 15g や 20g といった感じです。



70mm (写真上、20g & 15g) と 55mm (12g)、3つのウエイトとサイズの異なるキックビートを、ポイントの状況から判断して使い分けることが重要だ。

②レンジ+スピードの関係

これは、同じレンジを攻めるのにリトリーブスピードを変えるという意味での使い分け方法です。例えば、20g で引こうとしているレンジを 15g で引くとすると、ウエイトが軽い分リトリーブスピードはゆっくりになります。これを 55 やればさらにスローに引くことができます。



河川のクロダイゲームは、シーバスタックル&ルアーで狙えるバイブレーションへの反応がよいターゲットだ。

とくに活性の低いシーバスやデカイシーバスを狙う場合はリトリーブスピードを落としてしっかりとルアーを見せる方が有効なときが多いので、ボトムをしっかりと探れる範囲でウエイトがもっとも軽い物を使用する

とよいでしょう。キックビートはスローでも波動を出してしっかりとアピールしてくれるので、安心してスローに引けますね。

③流れを利用した使い方

流れを利用するというのは、ルアーに流れを当てて使用するという事です。私が河川でキックビートを使用するいちばんの理由は、この『流れに対する対応性が優れている点』かもしれません。

ダウンやダウncロスといった流れに逆らうアプローチの場合、バイブレーションは流れが速ければゆっくりと沈みながらも浮き上がろうとします。この原理を利用し、流れが強い状況であれば20g、逆に流れが弱ければ15gまたは55gというように、流れの強さと水深を考慮してボトム付近をしっかりと探れるサイズをチョイスしましょう。

その他のアプローチ

私がほかに良く使うアプローチはドリフトです。リトリーブで直線的に誘うのではなく、流れに乗せながらルアーを泳がせ、シンキングペンシルをドリフトさせる感じのイメージで使います。シンペンだと浮く力が強くボトムを長く探りきれない状況では、バイブレーションを使ったドリフトが有効です。



バイブレーションはとにかく使いどころの多いルアー。特性をしっかりとつかんで、シーバスゲームをもっと楽しもう！

バイブレーションというイメージが強くありますが、ナイトゲームでも活躍してくれます。ボトムや地形の変化をしっかりと探りたい場面ではもちろんですが、ナイトゲームの定番スポッ



河川でのウェーディングゲームの醍醐味は、なんといっても直接的なファイト！（※エイガードは必須です）

トとなる橋などから出来る明暗の境目のラインでも効果的です。

キックビートで明暗を狙う場合、境い目に対して平行にルアーを引いてくるのではなく、前述の③で書いたようにドリフトさせて使用します。立ち位置は明暗の境目のラインより上流に立ち、流れの強さや水深によってボトムをしっかりと探れるサイズでアプローチするとよいでしょう。

最後に、ボトムを意識する場合、ボトムにしっかりとコンタクトさせた方がよい場面と、ボトムを少し切るくらいがよい場面、またはタダ巻きではなくリフト&フォールなど縦の軌道を加えた方がよい場面があります。状況に合わせて反応のよいアプローチの仕方を探せば、更なる釣果が期待できますよ！



山内勝己（やまうち・かつみ）

fimoアドバンス。千葉県の河川や干潟をメインフィールドとする凄腕のシーバスアングラ。経験から培われた流れや地形の変化を読み取る高い能力をもとに、日々ランカーを求めてフィールドに通っている。

LONGIN. が贈るフリーペーパー

ロンジンマガジン Vol.5

弊社製品取扱店にて好評配布中!



秋の特別発行となったロンジンマガジンは今号で第5号！（特別発行号なので、前号よりは本の厚みが薄めです）

新製品レビンライトの巻頭解説記事に加え、秋のハイシーズン前に読みたいバイブレーションの使い方記事2本、魚の居場所を探りながら釣るための基礎知識記事を収録した保存版！

本は薄くなったけど中身はアツい今号も、もちろん無料配布！ 弊社ルアー取扱店全店に順次発送していますので、店頭になかった場合は店員さんに聞いてみて下さい！（弊社在庫があれば、お店へ送らせていただきます）。

ロンジンマガジンのご意見・ご感想もお待ちしております（HPアンケートよりお送り下さい）。

ロンジンマガジン Vol.5

配布価格：¥0（フリーペーパー）

版型：A5版 24ページオールカラー

発行：株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中
（数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい）



LONGIN

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

WEB MAGAZINE Vol.19

発行日：2015年9月19日

株式会社 LONGIN.